

令和4年度 学校評価結果のお知らせ

1 評価者

(1) 生徒 (2) 保護者 (3) 地域の代表者 (4) 本校職員

2 期間

令和5年1月10日(火)～ 令和5年1月20日(金)

3 目的

- ・学校の重点目標について、その達成状況や取組の適切さなどを評価し、学校運営の改善に資する。
- ・自己評価及び学校関係者による評価の実施・公表により、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。

4 方法

質問紙による4段階評価

5 内容及び結果

	内 容	生徒	保護者	地域	教職員
学校	学校の指導方針は共感でき、特色ある教育活に満足している。	3.7	3.3	3.5	3.3
子ども	子どもは、好ましい友達関係があり、楽しく校している。	3.5	3.3	3.8	3.3
教師	先生は、子どもをよく理解し、授業が分かりやすい。	3.7	3.5	3.1	3.8
人権教育	学校では、人権教育が推進され、人としての尊厳と責務を重んじる教育がなされている。	3.8	3.5	3.5	3.0
施設設備	学校は、安全に気を配り環境が整っている。	3.7	3.4	3.8	3.5

6 自由記述によるご意見

- ・弁当がいる日は早めに文書もしくはメールなどで伝えてほしいと思います。
- ・ていねいに観察・指導され、成果も出ていると思います。1学期よりも2学期の生徒の動きが格段に良い。それぞれが個性豊かに生き生きと生活（活動）しているのがわかります。
- ・学校や生徒、教師の皆様と接する機会が少ないのでアンケートに答えづらい。
- ・コロナ流行期でありますますが予防対策をしっかりしてすべてに積極的に取り組むことを希望します。1回消極的になって行事等を中断してしまうと次の機会をなくしてしまうと思います。
- ・日頃より学校通信を拝読させて戴いております。ありがとうございます。コロナ禍で学校の生活環境も緊張の毎日と思いますが頑張ってください。
- ・三学期がスタートして、事故なく病気なく元気に登校する姿とワンストップでの明るいあいさつに元気をいただきました。まだまだコロナ感染も心配ですが、しっかりと予防して次年度に繋げる様に学校生活のなかで学習を含めご指導よろしく願いいたします。
- ・地域と学校の連携として「なぎなた踊り」はとてもよい取組だと思います。次の宇久島を担うのは島に残る残らない関係なく今の子どもたちだと思います。地域とかかわり地域のことを勉強していただき、島民プライド、郷土愛を醸成していただければと思います。

7 考察

- ・「学校の指導方針は共感でき、特色ある教育活動に満足している。」では、生徒評価「3.7」、地域評価「3.5」といずれも高くなっている。郷土学習の1つとして取り組んでいるなぎなた踊りが本年度3年ぶりに八幡神社で披露させていただき、生徒の達成感も高かった。地域の方にたくさん参観いただき、なぎなた踊りが大切に受け継がれていることを実感した。さらに文化発表会を中学校単独で実施するにあたり、忙しさの中にも自分たちの力でやり遂げたことが生徒の大きな自信となったと考えられる。
- ・「先生は、子どもをよく理解し、授業が分かりやすい。」に対し、生徒評価は「3.7」、保護者評価は「3.5」といずれもたいへん高くなっている。これは今年度の研究授業のなかで、課題として挙げたものを次の研究授業で改善する「授業リレー」を行うことで、学校の課題を教職員が共有し生徒がわかる授業づくりに努めた結果であると考えられる。